

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	富山県	事業実施主体	富山県、黒部市	地域再生計画名	下新川地区の快適で魅力ある港づくり計画
計画期間	平成28年度～令和3年度	評価責任者	富山県土木部長、黒部市農林水産部長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数	達成数					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	魚津港（海の駅蟹気楼）の利用者数・来訪者数の増加	272,000人	H27	274,500人	H29	253,466人	277,000人	R3	150,156人	△	1	0	新型コロナウイルス感染症の影響から、利用者数・来訪者数が最終目標値を下回った。
	指標2	石田漁港の利用者数の増加	6,335名	H26	7,200名	H29	8,621名	8,200名	R3	7,575名	△	2	0	施設整備により利用者数の増加が図られ、中間目標値は達成したが、新型コロナウイルス感染症の影響から最終目標値を下回った。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	魚津港の接岸船舶（漁船）数	12,265隻	H27	12,280隻	H29	12,389隻	12,400隻	R3	7,345隻	-	/	0	新型コロナウイルス感染症や燃料費高騰の影響で漁船の来港が減ったため、接岸船舶数が減少した。
	指標2	漁港施設用地の船の実勢収容隻数	0隻	H27	10隻	H29	21隻	29隻	R3	19隻	-			石田漁港では漁業の担い手が減少傾向にあることから船舶利用数も減少しており、最終目標値を下回った。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度(H30)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	港湾施設整備事業（整備延長）		1,589m	55m	434m	北防波堤の設計を行ったところ、当初想定していなかった既設防波堤の補強が必要であると判明したため、整備延長が目標に達しない見込みである。（ただし、臨港道路北線(L=1,000m)については、別事業で整備実施済みのため、計画延長は155m） 魚津港の利用者・来訪者の増加を図るため、引き続き港湾施設の整備を推進する必要がある。								
	漁港施設整備事業（整備量）		2,533m ² 1,220m ³	2,533m ² 1,461m ³	2,533m ² 1,461m ³	H29年度に船舶保管施設、駐車場整備、H30年度に浚渫工事を完了させた。施設整備の効果により漁港利用者数は増加しており、また、土砂の除去により航行の安全性が確保できた。								
その他の事業	第10回Sea級グルメ全国大会in魚津		大会を開催することにより、地域活性化を図る			平成29年に「みなとオアシス魚津」認定10周年を記念し、「第10回Sea級グルメ全国大会in魚津」が日本海側で初めて開催され、2日間で約38千人が来場。交流拡大により、地域活性化に繋がった。※「Sea級グルメ」とは、みなとオアシスが位置する地元の港で水揚げされた海産物を用いて作られた飲食物のこと								
	石田納涼祭りマリーナフェスタ		イベント開催により、地域活性化を図る			石田地域の活性化を図るため、「石田納涼祭りマリーナフェスタ」を開催し、ヨット体験や打ち上げ花火、納涼祭に800人が来場した。事業は継続的に実施されており漁村地域の活性化が図られている。								
	ヨットに乗ろう（無料体験航海）		ヨットを通じて漁村地域の活性化を図る			漁港周辺はつり棧橋や海水浴場、パークゴルフ場やキャンプ場など海浜レクリエーションの拠点となっている。石田海域の活性化を図り29年度からヨット体験を開催していたが、コロナ禍のためR2年度より中止している。								
計画外で独自に実施した事業	観光案内説明員設置事業		観光案内の紹介を行い、観光による活性化を図る			魚津港の来訪者へ魚津港や蟹気楼等の説明を行うことにより、リピート客の増加や口コミにより、さらなる来訪者増につながることから、今後も取組を進めていく。								
	魚津の朝市		魚津の水産物、特産物を提供し、農水産業の活性化、地域振興を図る			月2回行われる朝市では、魚津の特産物、地場産品を提供しており、魚津の地域振興を担っていることから、今後も取組を進めていく必要がある。								
	都市農村交流事業「名水の里くろべこども自然体験村」		田舎の魅力を最大限に活用し、都市住民との交流拡大、地域活性化に取り組む			都内の小学生30名、黒部市内の小学生30名が農林漁業の体験を行い、交流を深めるものである。事業は好評で、交流拡大による地域活性化に繋がっており、今後も取り組みを進めていく。								
④評価方法	第三者からなる評議会に意見聴取のうえ、富山県と黒部市において事業の達成状況の評価、改善事項の検討等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	富山県のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生港整備推進交付金を活用した港湾と漁港の一体的な整備が実施され、概ね施設整備が完了した。その結果、新型コロナウイルス感染症が流行するまでは、港湾・漁港の利用者数等が増加し効果が確認された。一方で整備が完了していない施設が残っていることから、新型コロナウイルス感染症終息後に港湾や漁港の来訪者・利用者数が回復・増加した場合に対応できるよう、引き続き施設整備を推進する必要がある。													
⑦今後の方針等	本計画で整備が完了しなかった施設を含め、新たな地域再生計画「魚津・黒部の賑わいを活かした漁村活性化計画」（計画期間：令和4年度～令和6年度）を策定しており、引き続き施設整備等を推進し、アフターコロナにおける地方創生を図る。また、魚津市の「蟹気楼ロード」が日本風景街道に登録されたことや、魚津港と石田漁港を結ぶ「富山湾岸サイクリングコース」がナショナルサイクルルートに指定されたことを受け、本地域への来訪者の増加が見込まれることから、これを活かした海岸線地域の賑わい創出に取り組んでいく。													